

* 回答書は、別途FAX送信しています。(貝塚市)

新型コロナウイルスワクチン接種について

更新日：2021年04月20日

新型コロナウイルスワクチン接種に関し、日本政府は、製薬企業3社（ファイザー社・アストラゼネカ社・モデルナ社）から、合計3億1,400万回分のワクチン供給を受けることについて合意しています。1人2回接種を行う場合、1億5,700万人分になります。

ワクチンを供給できる準備が整った際には、出来るだけ早く皆さんにワクチンを提供できるよう、準備を進めています。

なお、ワクチン接種を希望される方は、**無料（公費負担）**で受けていただくことができます。

また、新型コロナウイルスワクチンの接種は、**法に基づき「努力義務」が付けられていますが、接種は強制ではありません。**接種を受ける方の同意がある場合に限り接種が行われます。

日本では、ファイザー社のワクチンが、本年2月15日に薬事承認され、既に医療従事者等への接種が始まっています。また、アストラゼネカ社から2月5日、モデルナ社から3月5日にそれぞれ承認申請が行われ、現在、審査が進められています。

一方で、全国民分のワクチンは一度には確保できず、徐々に供給が行われることになります。このため、**一定の接種順位を決めて接種を行っていく見込みです。**

国が予定しているワクチンの接種順位について

国においては、医療提供体制の確保や重症化リスクの大きさなどを踏まえ、まずは医療従事者等への接種を開始し、次に65歳以上の高齢者、その次に高齢者以外で基礎疾患がある方や高齢者施設等の従事者、その後、それ以外の方々に対し、ワクチンの供給量などを勘案の上、順次接種できるようにすることを検討しています。

【現時点で国が予定しているワクチンの接種順位】

第1順位：医療従事者等（救急隊員等を含む）

第2順位：高齢者（昭和32年4月1日以前に生まれた方）

第3順位：高齢者以外で基礎疾患を有する方（慢性の呼吸器の病気、慢性の心臓病・腎臓病・肝臓病、BMI30以上の肥満等）

第4順位：高齢者施設等の従事者

第5順位：その他の方

【上記第3順位 高齢者以外で基礎疾患を有する方の詳細】

※令和3年度中に65歳に達しない方であって、以下の病気や状態の方で、通院又は入院している方

1.慢性の呼吸器の病気

2.慢性の心臓病（高血圧を含む）

3.慢性の腎臓病

4.慢性の肝臓病（ただし、脂肪肝や慢性肝炎を除く）

5.インスリンや飲み薬で治療中の糖尿病又は他の病気を併発している糖尿病

6.血液の病気（ただし、鉄欠乏性貧血を除く）

7.免疫の機能が低下する病気（治療や緩和ケアを受けている悪性腫瘍を含む）

8.ステロイドなど、免疫の機能を低下させる治療を受けている

9.免疫の異常に伴う神経疾患や神経筋疾患

10.神経疾患や神経筋疾患が原因で身体の機能が衰えた状態（呼吸障害等）

11.染色体異常

12.重症心身障害（重度の肢体不自由と重度の知的障害とが重複した状態）

13.睡眠時無呼吸症候群

《令和3年3月19日付け厚生労働省通知において、以下の状態が追加されました。》

14.重い精神疾患（精神疾患の治療のため入院している、精神障害者保健福祉手帳を所持している、又は自立支援医療（精神通院医療）で「重度かつ継続」に該当する場合）や知的障害（療育手帳を所持している場合）

※基準（BMI30以上）を満たす肥満の方

●現時点の国の方針では、接種にあたり、上記基礎疾患の内容を証する診断書等の提示は必要ないとされています。

高齢者に対する無料接種券の送付について

市では、住民接種の優先順位第1位の対象となっている令和3年度中に65歳以上になる高齢者（昭和32年4月1日以前に生まれた方）に対し、3月25日に無料接種券を送付しました。（※郵便局による配達は、3月末くらいまでかけて順次行われる予定です。）

新型コロナウイルスワクチンについて、現時点で大阪府から、貝塚市に対する配分量として通知されているのは、4月22日に配付される予定の205回分（※本市の65歳以上人口は約23,000人につき、1人2回接種とした場合約46,000回分が必要）のみとなっています。

また、大阪府から冷蔵（2℃～8℃）で配送されるワクチンについては、5日以内に使い切る必要があります。

そのため、市では、初回配付分のワクチン（205回分）を活用し、65歳以上の高齢者を対象として、次のとおり「集団接種」を実施します。

【お知らせ】

●下記の集団接種の予約受付については、既に終了しておりますのでご了承ください。

★集団接種実施日（必ず事前予約が必要）

4月24日（土曜日）午後

4月25日（日曜日）午前・午後

★集団接種実施場所

両日とも 市立保健センター（完全予約制。接種日当日、予約なしで会場にお越しただいても、接種していただくことはできませんのでご注意ください。）

★お問合せ先

貝塚市新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター

フリーダイヤル 0120-729-722（平日・土日祝 9:00～17:30）

※聴覚障害のある方はファックスをご利用ください：ファックス 072-433-7016

市では、市内医療機関での「個別接種」と、市立保健センターなどでの「集団接種」を組み合わせワクチン接種を推進していく予定です。なお、現時点では、5月以降の全体の詳細をお知らせすることができませんので、改めて4月下旬に高齢者の皆さん全員に個別通知を送付し、その時点で決定している内容をお知らせし、それ以降についても、接種計画の詳細が決まり次第、個別通知により、高齢者の皆さんにお知らせする予定です。

※3月26日付け厚生労働省通知では、5月中に、合計20,000箱分（1バイアル5回接種換算で1,950万回分）を、高齢者向け接種用として、全国の都道府県に配分し、その後も2週間ごとに配送を繰り返す予定とされています。

※高齢者以外の方に対する無料接種券の送付時期につきましては、現在のところ未定です。決定次第、ホームページや広報紙でお知らせします。

ワクチン接種回数及び接種間隔について

国は、高齢者に対するワクチン接種については、ファイザー社製ワクチンを用いるとしています。

ファイザー社製ワクチンの場合、現時点では、通常、3週間の間隔をあけて2回接種とされています。（※1回目にファイザー社製ワクチンを接種した場合は、2回目も必ず同じワクチンを接種してください。）

新型コロナワクチンの副反応疑い報告について

厚生労働省では、ワクチンの接種後に生じる副反応を疑う事例について、医療機関に報告を求め情報収集しています。収集した報告については、厚生労働省の審議会に諮り、専門家による評価を行っています。

厚生労働省では、こうした結果を公表するなどして、安全性に対する情報提供に努めています。

[新型コロナワクチンの副反応疑い報告について](#)

ファイザー社の新型コロナワクチンについて

[ファイザー社の新型コロナワクチンについて](#)

新型コロナワクチンの有効性・安全性について

[新型コロナワクチンの有効性・安全性について](#)

新型コロナワクチン Q&A

[新型コロナワクチン Q&A](#)

新型コロナウイルスワクチン接種に便乗した詐欺行為にご注意ください

保健所や自治体の職員を装い、「高齢者を対象にワクチンが接種できる。そのためには予約金が必要。」等として、金銭を要求する電話が確認されています。

行政機関が、新型コロナウイルスワクチン接種に関し、現金を要求することは絶対にありません。

不審な電話やメールは、すぐに切るか無視して下さい。また、不審な訪問がありましたら、すぐに110番または警察署にご相談ください。

厚生労働省 新型コロナワクチンコールセンター

施設へのご意見やワクチン全般に関することなど、新型コロナウイルスワクチンに関する各種相談に対応する「厚生労働省 新型コロナワクチンコールセンター」が開設されています。

電話：(フリーダイヤル) 0120-781-770

受付時間：平日・土日祝 午前9時から午後9時

大阪府 新型コロナワクチン専門相談窓口

接種に関する専門的な相談や接種後の副反応に関することなど、新型コロナウイルスワクチンに関する専門的相談に対応する「大阪府新型コロナワクチン専門相談窓口」が開設されています。

電話：0570-012-338

受付時間：平日・土日祝 24時間対応

※種別障害のある方はファックスをご利用ください：ファックス 06-6641-0072

健康子ども部 健康推進課

この記事に関する
お問い合わせ先

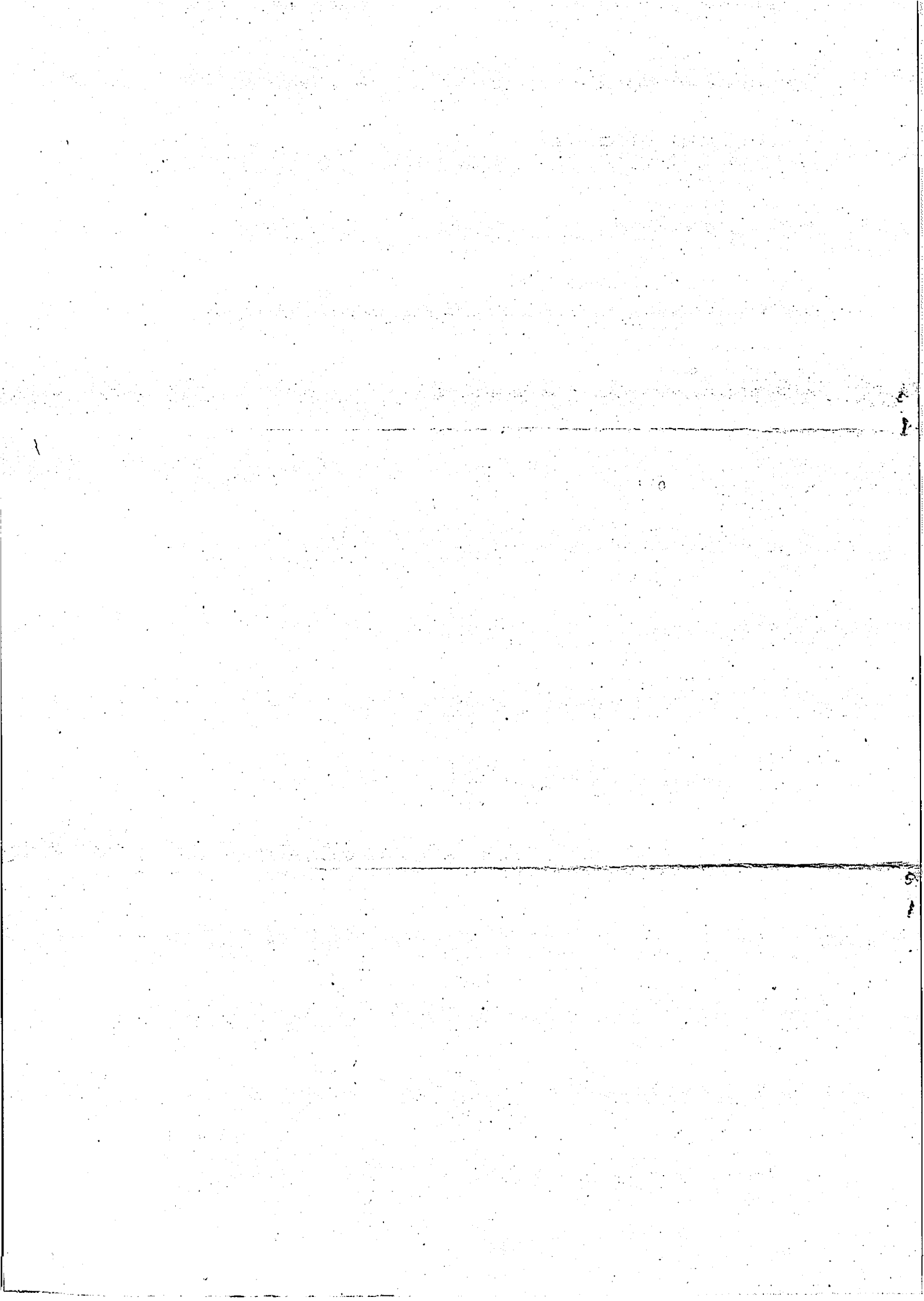
電話：072-433-7000

ファックス：072-433-7005

〒597-0072

大阪府貝塚市島中1丁目18番8号 保健・福祉合同庁舎1階

メールフォームによるお問い合わせ



新型コロナウイルスワクチン接種のお知らせ

接種費用
無料
(全額公費)



**高齢者への接種の開始は
早くても4月下旬になる見込みです**

新型コロナウイルスワクチン接種について

このチラシは、令和3年3月10日時点の情報をもとに作成しています
国におけるワクチンの薬事承認や供給時期が流動的なことから、掲載内容は変更される場合があります

新型コロナウイルス感染症は、未だ終息の見通しが立たない状況が続いています。そのような中、新型コロナウイルス感染症のまん延を防止することを目的として、まずは、住民接種の優先順位第1位の高齢者に対するワクチン接種が始まります。

現在、新型コロナウイルスワクチンは、次のような一定の順位を決めて接種していただく予定です。

- ①医療従事者等 … 医療従事者個人のリスク軽減に加え、医療提供体制確保等のため
- ②高齢者(令和3年度中に65歳以上に達する方) … 重症化リスクの大きさ等を考慮
- ③高齢者以外で基礎疾患を有する方や高齢者施設等で従事されている方
- ④それ以外の方

なお、新型コロナウイルスワクチンの接種は、法に基づき「努力義務」が付されていますが、接種は強制ではありません。接種を受ける方の同意がある場合に限り接種が行われます。予防接種を受ける前に、**ワクチンの効果や副反応のリスク等(2ページ)**についてよく読み理解した上で、**自らの意志で接種を受けていただきます。**受ける方の同意がない場合は、接種が行われることはありません。

●接種期間 令和4年2月末までの予定とされています

なお、高齢者への接種の開始は、早くても4月下旬になる見込みです

●今回クーポン券(接種券)を送付する方

市内在住の高齢者(令和3年度中に65歳以上に達する、昭和32年4月1日以前に生まれた方)

※①医療従事者等で、既にワクチンを接種済の方は、重複して受けていただく必要はございません。今回送付したクーポン券は破棄していただきますようお願いいたします。

※接種当日に貝塚市から転出されている場合は、同封の貝塚市発行のクーポン券は使用できません。

その場合は、新しい住所地の市区町村担当課で新たにクーポン券の発行を受けていただく必要があります。

●接種回数・間隔

ファイザー社製のワクチンの場合、現時点では、**通常、3週間の間隔を空けて2回接種**とされています(1回目の接種から3週間を超えた場合には、できる限り速やかに2回目の接種を受けてください)

※1回目にファイザー社製ワクチンを接種した場合は、2回目も必ず同じワクチンを接種してください。

●接種場所等

市では、市内委託医療機関での「個別接種」と、貝塚市立保健センター等での「集団接種」を組み合わせるワクチン接種を推進していく予定です。

なお、国におけるワクチンの薬事承認の時期や海外からの入荷状況が流動的なため、現時点では、全体の詳細をお知らせすることができませんので、**改めて4月下旬に高齢者の皆さんに個別通知を送付し、個別接種ができる医療機関名や集団接種の詳細等、その時点で決定している内容をお知らせする予定です。**また、市ホームページ等でもお知らせします。

新型コロナウイルスワクチン接種に便乗した詐欺行為にご注意ください

保健所や自治体の職員を装い、「高齢者を対象にワクチンが接種できる。そのためには予約金が必要。」等として、金銭を要求する電話が確認されています。**行政機関が、新型コロナウイルスワクチン接種に関し、現金を要求することは絶対にありません。**不審な電話やメールは、すぐに切るか無視してください。また、不審な訪問がありましたら、すぐに110番または警察署にご相談ください。

新型コロナウイルスワクチンを接種する前に必ず読んでください

ワクチンの効果

今回新たに承認されたファイザー社製新型コロナウイルスワクチンは、2回の接種によって、95%の有効性で発熱やせき等の症状が出ること(発症)を防ぐ効果が認められています。

(※インフルエンザワクチンの有効性は約40~60%)

ワクチン接種で十分な免疫ができるのは、2回目の接種を受けてから7日程度経って以降とされています。

なお、現時点では感染予防効果は明らかになっていません。

ワクチン接種後も、マスクの着用等、感染予防対策の継続をお願いします。

ワクチンの安全性(副反応)

次のような症状が現れることがあります。

発現割合	症状
50%以上	接種部位の痛み、疲労、頭痛
10~50%	筋肉痛、悪寒、関節痛、下痢、発熱、接種部位の腫れ
1~10%	吐き気、嘔吐

- ・これらの症状の大部分は、接種後数日以内に回復しています。
- ・疲労や関節痛、発熱等、1回目より2回目の方が、頻度が高くなる症状もあります。
- ・インフルエンザの予防接種等と比べて、痛みが強いと感じる方もいます。



○接種後すぐに現れる可能性がある症状について

・アナフィラキシー

薬や食物が体に入ってから、短時間で起こることのあるアレルギー反応です。じんま疹等の皮膚症状、腹痛や嘔吐等の消化器症状、息苦しさ等の呼吸器症状が、急に起こります。血圧低下や意識レベルの低下(呼びかけに反応しない)を伴う場合をアナフィラキシーショックと呼びます。起こることは極めてまれですが、接種後にもアナフィラキシーが起こっても、すぐに対応が可能なよう、ワクチンの接種会場や医療機関では、医薬品などの準備をしています。

・血管迷走神経反射

ワクチン接種に対する緊張や、強い痛みをきっかけに、立ちくらみがしたり、血の気が引いて時に気を失うことがあります。誰にでも起こる可能性がある体の反応で、通常、横になって休めば自然に回復します。倒れてケガをしないように、背もたれのある椅子に座って様子みてください。

○予防接種健康被害救済制度について

予防接種では健康被害(病気になったり障害が残ったりすること)が起こることがあります。極めてまれではあるものの、なくすことができないことから、救済制度が設けられています。新型コロナウイルスワクチンの予防接種によって健康被害が生じた場合にも、予防接種法に基づく救済(医療費・障害年金等の給付)が受けられます。申請に必要な手続き等については、住民票がある市町村にご相談ください。

ワクチンを受けることができない方

- ★明らかに発熱している人(通常37.5℃以上。ただし、37.5℃を下回る場合も平時の体温を鑑みて発熱と判断される場合はこの限りではありません)
- ★ワクチンの成分に対し重度の過敏症の既往歴のある人(アナフィラキシーや全身性の皮膚・粘膜症状、喘鳴、呼吸困難、頻脈、血圧低下等、アナフィラキシーを疑わせる複数の症状)
- ★重い急性疾患にかかっている人
- ★上記以外で、予防接種を受けることが不適當な状態にある人

ファイザー社製ワクチンには添加物としてポリヒンク® リコール(PEG)が使用されています。PEGは化粧品・シャンプー・歯磨き粉等にも使用されています。

重度の過敏がある方は接種しない、軽度・中等度の方は接種時には注意が必要です。

ワクチンを受けるにあたり注意が必要な方

※基本的には接種は可能ですが、かかりつけ医等とご相談の上、ワクチンを受けるかどうかお考えください

- ★抗凝固療法を受けている人、血小板減少症または凝固障害のある人
- ★過去に免疫不全の診断を受けた人、近親者に先天性免疫不全症の方がいる人
- ★心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害等の基礎疾患のある人
- ★過去に予防接種を受けて、接種後2日以内に発熱や全身性の発疹等のアレルギーが疑われる症状が出た人
- ★過去にけいれんを起こしたことがある人
- ★ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれがある人
- ★現在、何かの病気で治療中の方
- ★新型コロナウイルス感染症に感染したことがある方

新型コロナウイルスワクチンの有効性・安全性等の詳しい情報については、首相官邸ワクチン特設ページをご覧ください。

官邸 コロナ ワクチン 検索



ワクチン接種までの流れ

1 接種可能な時期を確認する

新型コロナウイルスワクチンは、**医療従事者等、高齢者、基礎疾患のある方等**から順次接種を開始する予定です。接種開始時期については、国からの発表をお待ちください。

※ 接種開始時期が決まりましたら、厚生労働省ホームページ、市の広報やホームページ等でお知らせします。



2 医療機関/接種会場を探す

市では、市内委託医療機関での「個別接種」と、貝塚市立保健センター等での「集団接種」を組み合わせ、ワクチン接種を推進していく予定です。

なお、国におけるワクチンの薬事承認の時期や海外からの入荷状況が流動的なため、現時点では、全体の詳細をお知らせすることができませんので、**改めて4月下旬に高齢者の皆さんに個別通知を送付し、個別接種ができる医療機関名や集団接種の詳細等、その時点で決定している内容をお知らせする予定です。**また、市ホームページ等でもお知らせします。

※原則、ワクチンは住民票のある市町村(住所地)で受けていただきます。

住所地以外でのワクチン接種については、裏面(4ページ)をご覧ください。

現在、何かの病気で治療中の方は、事前にかかりつけ医等とご相談の上、ワクチンを受けるかどうかお考えください



3 予約して、ワクチンを受ける

予約の詳細については、上記②と同様、**改めて4月下旬に高齢者の皆さんに送付する個別通知にてお知らせする予定です。**

当日の持ち物

- クーポン券(同封されている接種券)
- 本人確認書類(運転免許証、健康保険証等)
- **新型コロナワクチン接種の予診票(2回分同封のうち1回分を必ず事前に記入して持参)**
- お持ちの場合…お薬手帳
- 2回目の接種の場合…**1回目の予防接種済証(クーポン券と同じ台紙になります)**

※ 接種前にご自宅で体温を測定し、明らかな発熱がある場合や体調が悪い場合などは、接種を控え、予約した市町村の窓口や医療機関にご連絡ください。

※ 肩を出しやすい服装でお越しください。

※ 同封されているクーポン券は、2回分の「クーポン券」や「予防接種済証」が1枚になっています。毎回、切りはなさず台紙ごとお持ちください。

※ **ワクチンの効果を十分得るために、同じ種類のワクチンを一定の間隔を空けて2回受ける必要があります。**

1回目を受けた際、次回接種がいつから可能なのをご確認ください。

※ **2回目の接種の際に、1回目の予防接種済証が必要となりますので、それまで大切に保管してください。**

住民票がある場所(住所地)以外での接種について

●申請が**必要**

- ・お住まいが住所地と異なる方(遠隔地へ下宿している学生、単身赴任者等長期滞在している場合)
→**実際にお住まいの市町村への申請が必要となります。**
詳しくはお住まいの市町村にお問合せください。

●申請が**不要**

- ・入院中の医療機関や入所中の施設でワクチンを受ける方
- ・以下の基礎疾患があり(貝塚市以外の)他市町村のかかりつけ医のもとで接種を希望される方
→**申請なしで、貝塚市のクーポン券を使用して接種が可能です。**

※基礎疾患のある方とは、以下の①又は②に該当する方です。
(令和3年2月1日時点の案であり、変更となる可能性があります。)

- ①以下1~13の病気や状態の方で、通院/入院している方
1. 慢性の呼吸器の病気
 2. 慢性の心臓病(高血圧を含む。)
 3. 慢性の腎臓病
 4. 慢性の肝臓病(肝硬変等)
 5. インスリンや飲み薬で治療中の糖尿病又は他の病気を併発している糖尿病
 6. 血液の病気(ただし、鉄欠乏性貧血を除く。)
 7. 免疫の機能が低下する病気(治療中や緩和ケアを受けている悪性腫瘍を含む。)
 8. ステロイドなど、免疫の機能を低下させる治療を受けている
 9. 免疫の異常に伴う神経疾患や神経筋疾患
 10. 神経疾患や神経筋疾患が原因で身体の機能が衰えた状態(呼吸障害等)
 11. 染色体異常
 12. 重症心身障害(重度の肢体不自由と重度の知的障害とが重複した状態)
 13. 睡眠時無呼吸症候群
- ②基準(BMI 30 以上)を満たす肥満の方
- ・BMI = 体重(kg) ÷ 身長(m) ÷ 身長(m)
 - ・BMI30の目安: 身長170cmで体重87kg、身長160cmで体重77kg

新型コロナウイルスワクチンの接種についての相談窓口

●ご相談内容に応じて、各コールセンターにお問合せください。

- ・ワクチン確保の現状と見込みについて知りたい
- ・新型コロナウイルスワクチンの接種の現状について知りたい…等、
- ★**施策の在り方等に関するご意見・お問合せについては**

厚生労働省 【開設中】
新型コロナウイルスワクチンコールセンター
0120-761-770
(平日・土日祝 9:00~21:00)

- ・ワクチンの効果・副反応について知りたい
- ・接種後3日経っても腫れているが医療機関を受診した方がよいか?…等、
- ★**接種に関する専門的な相談や副反応に関することは**

大阪府 【4月1日~開設】
新型コロナウイルスワクチンコールセンター
0570-012-336
(平日 9:00~17:30)

- ・集団接種の予約をとりたい
- ・接種券(クーポン券)を紛失したかどうしたらよいか?
- ・1回目から2回目の接種間隔は?
- ・どこの医療機関で接種できるのか?…等、
- ★**接種券や受け方に関することは**

貝塚市 【開設中】
新型コロナウイルスワクチン接種
コールセンター
0120-729-722
(平日・土日祝 9:00~17:30)